授業科目　高次脳機能障害作業療法学

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	作業
能登　真一	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】
脳損傷によって生じる様々な高次脳機能障害に対して，効果的な作業療法を実施するために，治療戦略やその実際の方法を学習する

【学習目標・行動目標：SBO】
1．高次脳機能障害の回復過程を述べることができる
2．高次脳機能障害に対する作業療法アプローチの目的について列記することができる
3．失語に対する作業療法の実際を説明することができる
4．失行に対する作業療法の実際を説明することができる
5．半側空間無視に対する作業療法の実際を説明することができる
6．高次脳機能障害患者に対する環境調整と家族指導の必要性について議論することができる
7．高次脳機能障害に関心を持ち，それらの治療に貢献しようとする意欲と態度を身につける

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	高次脳機能障害の回復過程と治療メカニズム	1	講義
2	高次脳機能障害に対する作業療法アプローチの目的	2	講義
3	失語に対する作業療法	3	講義，演習
4	失行に対する作業療法	4	講義，演習
5	半側空間無視に対する作業療法	5	講義，演習
6	前頭葉症状，認知症に対する作業療法	5	講義，演習
7	高次脳機能障害患者に対する環境調整と家族指導	6	講義，演習
8	まとめ	1～6	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	標準作業療法学　高次脳機能作業療法学	能登　真一　編集	医学書院	2012・3,800 円＋税
参考書	高次脳機能障害マエストロシリーズ（4）リハビリテーション介入	鈴木孝治　他	医歯薬出版	2006・2,600 円＋税
その他の資料				

【評価方法】
出席約 10%＋期末試験約 80%＋態度約 10%によって総合的に判定する

【履修上の留意点】